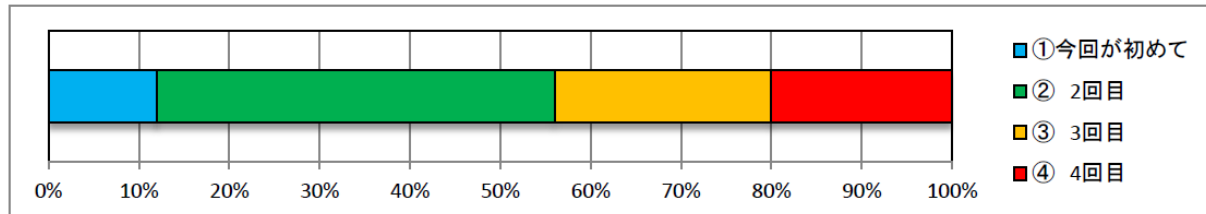


平成 27 年 5 月 9 日 長崎大学環境科学科奥雲仙田代原高原 研修
アンケート結果

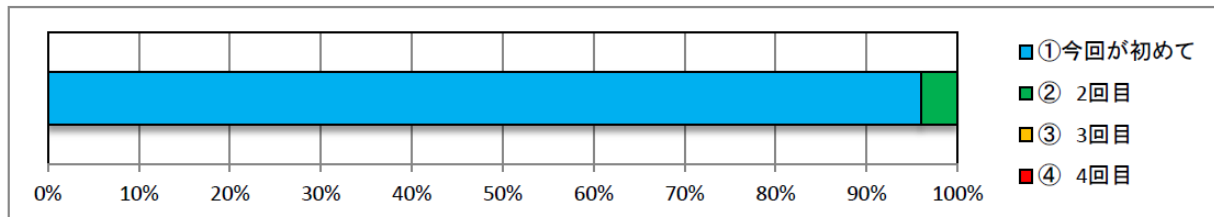
1. 雲仙・島原に、これまで来られたことはありましたか。

選択肢	① 今回が初めて	② 2回目	③ 3回目	④ 4回目		計
回答数	3	11	6	5		25
比率	12%	44%	24%	20%		100%



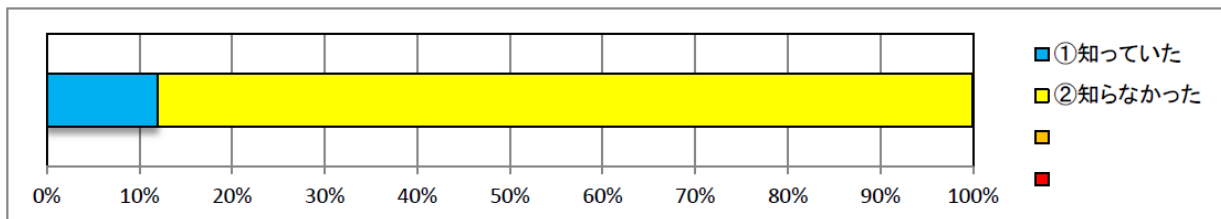
2. 田代原高原に、これまで来られたことはありましたか。

選択肢	① 今回が初めて	② 2回目	③ 3回目	④ 4回目		計
回答数	24	1	0	0		25
比率	96%	4%	0%	0%		100%



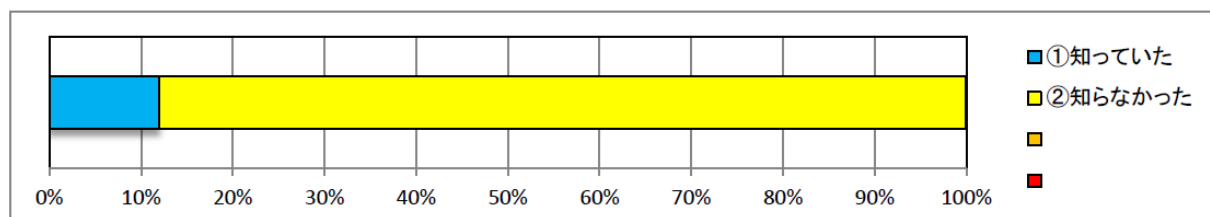
3. 田代原高原をご存知でしたか。

選択肢	① 知っていた	② 知らなかった				計
回答数	3	22				25
比率	12%	88%				100%



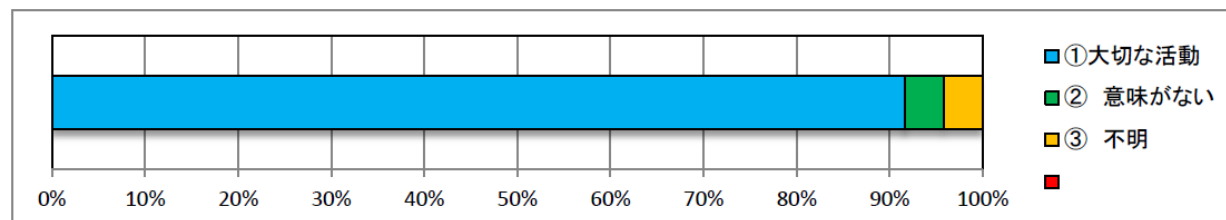
4. 田代原高原のミヤマキリシマをご存知でしたか

選択肢	① 知っていた	② 知らなかった				計
回答数	3	22				25
比率	12%	88%				100%



5. 現在行っているミヤマキリシマの保全活動の目的や意義について

選択肢	①大切な活動	② 意味がない	③ 不明			計
回答数	22	1	1			24
比率	92%	4%	4%			100%



その理由（自由回答）

①大切な活動

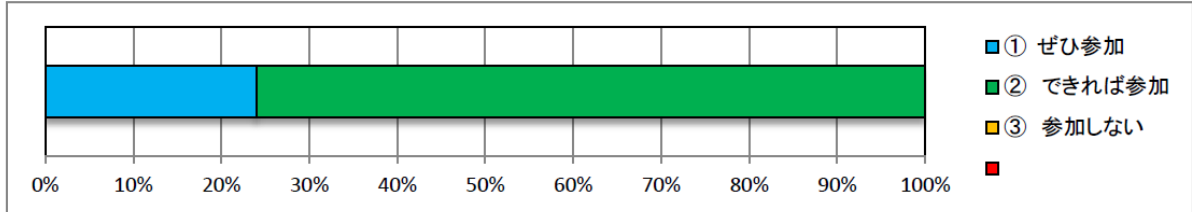
- この活動を行ってミヤマキリシマを守れば美しい景観を保つことができる
- ミヤマキリシマは美しく、素晴らしい景観を形成するから
- せっかくの自然を失ってしまうのはもったいないから
- 自然は、手つかずの状態がいいと思われがちだが、人の手を加えて初めて維持できる環境もあるから
- ミヤマキリシマの生息地は日本でも限られているため
- 良好な景観を保つことが大切
- 残りの5%を守ることは、やっていくべきと思ったから
- 残りの5%しか残っていないミヤマキリシマを守っていかなければいけないと感じたから
- 数少ない植物を大切にしていこうという試みだから
- 数が減ってきているものを守るのは素晴らしいことだから
- 人と自然が関わる機会は保全すべきだから
- 雲仙・島原の大切な自然を守ることは重要だと思いました
- きれいな花だったから
- ミヤマキリシマが絶滅危惧レベルで減っているから
- 昔あったものが無くなるのは、普通ではないことだから
- 純粋に、とてもきれいだなと思ったから

②あまり意味がない、③不明

- 最終的な目標のビジョンがあいまいだと感じた
- 目的・意義があまり明瞭でないように感じたため

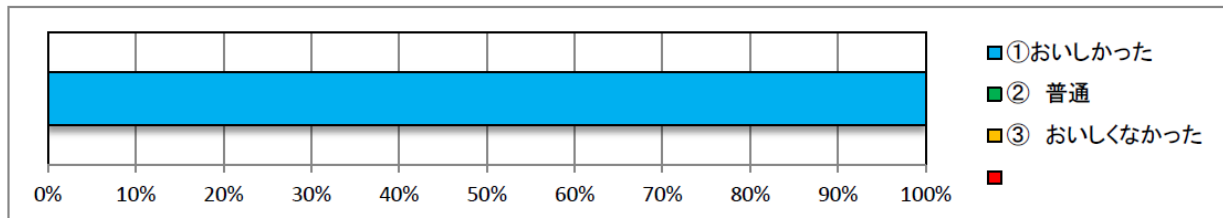
6. 今後、ミヤマキリシマ保全活動に協力をお願いしたら参加されますか

選択肢	①ぜひ参加	② できれば参加	③ 参加しない		計
回答数	6	19	0		25
比率	24%	76%	0%		100%



9. お屋のお弁当はいかがでしたか

選択肢	①おいしかった	② 普通	③ おいしくなかった		計
回答数	23	0	0	0	23
比率	100%	0%	0%	0%	100%



8. 田代原高原に、多くの人を訪れるようになるためには、今後、何が必要と感じましたか。

産業・牧畜業

- 元々は、放牧地だったので、農林業が盛んになるとよい
- 雇用の場所を生み出すこと
- あと2頭になってしまったら、いっそ牛の放牧をやめてみる。家畜のにおいが嫌いな人も来るようになるかも
- 経済活動（お金が落ちないので持続性が保たれないのではないかと）

地元特産品

- お豆のおまんじゅう、めっちゃ美味しかったので、名物として売り出したら売れそう！
- お土産。特に、ミヤマキリシマ自体を使ったもの。エッセンシャルオイル。
- 特産品をつくる（名物、まんじゅう等）

交通手段。

- バスを通らせる
- アクセス手段の充実
- 公共交通機関
- チャーターバスを配備して、来場者に交通手段を提供すればアクセスしやすくなると思います
- 送迎バスをつくる

PR活動。

- 保全活動の参加呼びかけ。
- 教育の場で話をする。
- 教育施設として利用するなら、教育学部へも協力を呼び掛けてみたらどうでしょうか。小学校では自然と親しむ活動がありますが、少し詳しい小学生より知識が乏しい先生も多いような気がします。
- 認知度の低さが一番問題ではないでしょうか
- たくさんの人が目に引くようなポスターを作る
- 田代原のすばらしさをアピールした動画を撮ってテレビ局に送る
- PR活動を積極的に行って、田代原高原を多くの人に知ってもらう
- デザイン性（役所の広報は、正直ダサいと感じる）
- 宣伝をする（チラシなど）
- 「田代原高原」という文字をみることがないので、もっと広告等でのPRを増やすべき
- ミヤマキリシマ、国立公園についての価値を伝えること
- 主力となる「名物」を、もっともっとアピールしていくこと
- これといった「名物?」、観光名所としての強みを見つけ、アピールすること
- 存在を知ってもらうこと！！この自然を見たら、また来たいと思うし、ほかの人も誘ってみたいとおもうはず！！
- もっとPRする！知名度をとにかく上げる！
- 福岡にこのようなところはないので、長崎に限らず県外でも宣伝する
- 田代原という場所をより多くの人に知ってもらう
- 知名度を上げる

イベント開催

- 田代原に関する講演会やフィールドワークの機会を増やす
- 自然を活かしたイベントを企画する
- 長崎市でのイベント
- 学生向けの安価なバスツアーなどを行う
- 高校生をターゲットに、卒業旅行プランなどがあったら、私だったら行きたいと思う。
- ○○祭りのようなものを行う

施設整備

- 自然を活かしたアスレチックをつくる
- 宿泊施設
- 野外活動の場
- 家族・子供連れの人たちを呼び込むために、ボール遊びができるところを草原の中に作れたらよいと思う
- 近くに買い物ができる場所や、風景が見れるレストラン等があるとよいと思う
- 動物ともっとふれあえるようにする

その他

- 一人で来てもその環境の価値は分からないので、案内する人（ガイド）が観光客につけるようにする。ホームページなどを使って予約制にすれば、その価値を正確に理解してくれると思います。
- 「食」を通じた関わり
- リピーターを増やす
- 訪れる理由が必要である（わざわざ時間をかけて田代原までくる理由がないと感じる人が多いのではないか）
- 動機をつくる（イベント、体験型学習など）
- 訪れる人のターゲット層を絞ること
- スマホの回線をよくする
- 現代的な話題性
- 観光大使をたてる